

田辺三菱製薬株式会社

2013年度第2四半期 決算説明会

(2013年4月1日～2013年9月30日)



田辺三菱製薬

2013年11月1日

代表取締役社長 土屋 裕弘

2013年度第2四半期 決算概要

(平成26年3月期)

売上高

2,028億円（前年同期比 -0.5%）

営業利益

305億円（前年同期比 -5.5%）

四半期純利益

285億円（前年同期比 +46.4%）

トピックス

・ 売上高、営業利益は減収減益、四半期純利益は大幅増益

- ✓ レミケード、シンポニーが伸長、両剤で434億円、前年同期比12%増加
- ✓ ジレニアのロイヤリティ収入は、当期累計141億円、前年同期比134%増加
- ✓ インヴォカナの米国での処方順調に拡大、初期浸透は順調
- ✓ メディカゴを買収(9月)し、ワクチン事業をグローバルに強化
- ✓ レミケードの仕入価格が低減、精算金等として110億円を特別利益に計上
- ✓ 田辺三菱製薬工場の生産拠点を2017年度末を目途に2工場へ集約
- ✓ 中国、インドネシアで新製剤棟建設を開始

2013年度第2四半期 決算概況

	2013年度	2012年度	増減		上期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,028	2,038	-10	-0.5	2,000	101.4
売上原価	824	793	+32	+4.0	780	105.7
売上原価率	40.6%	38.9%			39.0%	
売上総利益	1,204	1,246	-41	-3.3	1,220	98.7
販管費	900	923	-24	-2.6	920	97.8
営業利益	305	322	-18	-5.5	300	101.5
経常利益	322	331	-9	-2.8	310	103.9
四半期純利益	285	195	+91	+46.4	260	109.8

※上期予想:2013年5月8日 2012年度決算発表時に公表した予想値

四半期純利益のみ9月25日に修正
190億円→260億円

医療用医薬品 主要製品売上高

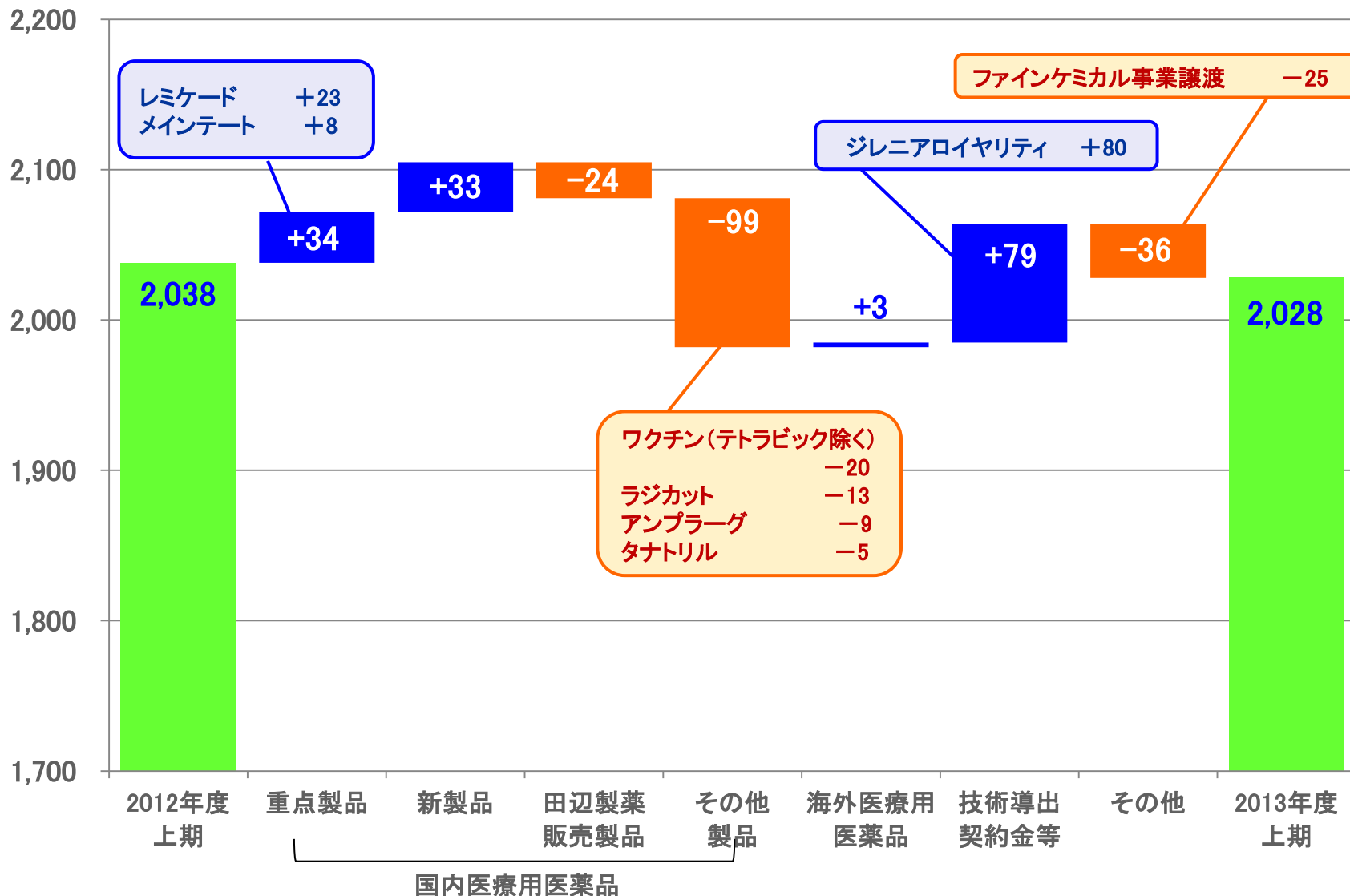
		2013年度	2012年度	増減		上期予想	達成率
		億円	億円	億円	%	億円	%
国内医療用医薬品		1,710	1,766	-56	-3.2	1,697	100.8
重点製品	レミケード	390	367	+23	+6.3	386	101.2
	メインテート	77	70	+8	+10.9	75	103.0
	クレメジン	64	60	+4	+6.7	63	101.7
	タリオン	51	53	-1	-2.8	54	94.9
新製品	シンポニー	44	22	+22	+98.7	41	107.9
	レクサプロ	24	17	+8	+46.5	33	73.8
	テラビック	11	35	-24	-68.3	19	57.8
	イムセラ	10	5	+5	+118.4	13	75.9
ワクチン	140	126	+14	+10.8	127	110.1	
(テトラビック)	(34)	(-)	(+34)	(-)	(43)	(79.1)	
田辺製薬販売取扱品(注)	67	91	-24	-26.4	67	99.7	
技術導出契約金等	153	74	+79	+107.3	130	117.6	
(ジレニア ロイヤリティ)	(141)	(60)	(+80)	(+133.7)	(-)	(-)	

注: ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含む

売上高の増減

【2013年度第2四半期 決算概況】

億円



	2013年度	2012年度	増減		上期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,028	2,038	-10	-0.5	2,000	101.4
売上原価	824	793	+32	+4.0	780	105.7
売上原価率	40.6%	38.9%			39.0%	
売上総利益	1,204	1,246	-41	-3.3	1,220	98.7
販管費	900	923	-24	-2.6	920	97.8
研究開発費	343	342	+1	+0.1	354	96.9
人件費	239	260	-21	-8.1	238	100.2
のれん償却額	53	51	+2	+4.0	52	101.2
その他	266	271	-5	-1.8	276	96.2
営業利益	305	322	-18	-5.5	300	101.5

営業外損益・特別損益

【2013年度第2四半期 決算概況】

	2013年度	2012年度	増減		上期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	305	322	-18	-5.5	300	101.5
営業外損益	17	9	+9			
経常利益	322	331	-9	-2.8	310	103.9
特別利益	119	12	+107			
仲裁裁定に伴う特別利益	110	-	+110			
段階取得に係る差益	9	-	+9			
その他	-	12	-12			
特別損失	9	36	-28			
減損損失	8	3	+5			
事業統合関連損失	-	22	-22			
投資有価証券評価損	-	7	-7			
その他	1	4	-3			
四半期純利益	285	195	+91	+46.4	260	109.8

2013年度 業績予想

(平成26年3月期)

2013年度 通期業績予想修正(前期比較)

	2013年度予想	2012年度実績	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	4,190	4,192	-2	0.0
売上原価	1,700	1,664	+36	+2.2
売上原価率	40.6%	39.7%		
売上総利益	2,490	2,528	-38	-1.5
販管費	1,860	1,838	+22	+1.2
研究開発費	710	665	+45	+6.7
人件費	483	519	-36	-6.9
のれん償却額	104	103	+1	+1.0
その他	563	551	+12	+2.2
営業利益	630	690	-60	-8.7
営業外損益	25	4	+21	-
経常利益	655	694	-39	-5.6
特別損益	40	-17	+57	-
当期純利益	450	419	+31	+7.4

医療用医薬品 主要製品売上高

【2013年度 通期業績予想修正(前期比較)】

		2013年度 (予想)	2012年度 (実績)	増減	
		億円	億円	億円	%
国内医療用医薬品		3,544	3,566	-21	-0.6
重点 製 品	レミケード	790	735	+55	+7.5
	メインテート	162	141	+21	+15.0
	タリオン	156	143	+13	+9.1
	クレメジン	129	122	+7	+5.9
新 製 品	シンポニー	101	53	+48	+91.9
	レクサプロ	75	46	+30	+65.6
	テラビック	22	51	-29	-57.3
	テネリア	32	12	+20	+166.6
	イムセラ	24	13	+11	+90.8
ワクチン		307	288	+19	+6.6
(テトラビック)		(84)	(45)	(+39)	(+85.4)
(インフルエンザ)		(82)	(77)	(+5)	(+7.1)
田辺製薬販売取扱品(注)		140	190	-49	-26.0
技術導出契約金等		332	227	+106	+46.7

注：ジェネリック医薬品その他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含む

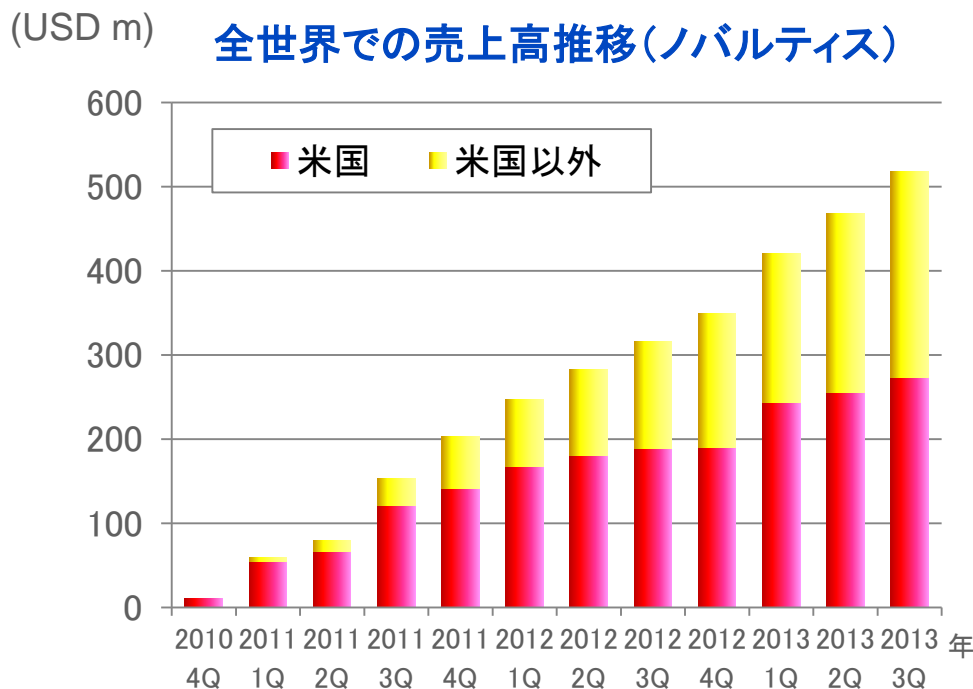
2013年度 通期業績予想修正(従来予想との比較)

	修正予想	従来予想	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	4,190	4,170	+20	+0.5
売上原価	1,700	1,630	+70	+4.3
売上原価率	40.6%	39.1%		
売上総利益	2,490	2,540	-50	-2.0
販管費	1,860	1,840	+20	+1.1
研究開発費	710	705	+5	+0.7
人件費	483	479	+4	+0.8
のれん償却額	104	104	-	-
その他	563	552	+11	+2.0
営業利益	630	700	-70	-10.0
営業外損益	25	15	+10	-
経常利益	655	715	-60	-8.4
特別損益	40	-25	+65	-
当期純利益	450	440	+10	+2.3

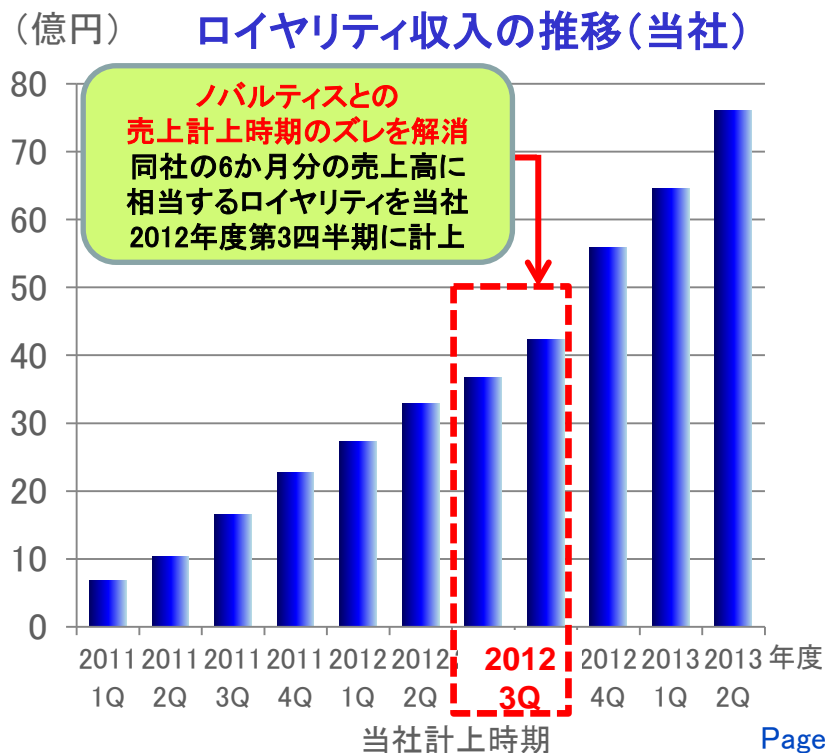
2013年度第2四半期 トピックス

(平成26年3月期)

- ◆ 当社が創製し、海外はノバルティスに導出
- ◆ 75カ国以上で承認取得、臨床試験も含めた投薬患者数は78,500人以上
- ◆ ノバルティス(スイス)による2012年全世界売上高:約12億ドル
- ◆ 2013年(1~9月)全世界売上高:14億ドル



出典:ノバルティス決算発表資料より



当社が創製したSGLT2阻害剤 TA-7284(一般名:カナグリフロジン) 海外はヤンセンファーマシューティカルズに導出

- 米国:2013年3月 承認取得
 - ファーストインクラス
 - 製品名 INVOKANA™
 - 内分泌医師のブランド薬の処方数でNo.1に*
*2型糖尿病治療の追加、切替処方時
- 欧州:2013年9月 承認勧告
- 日本:2013年5月 承認申請

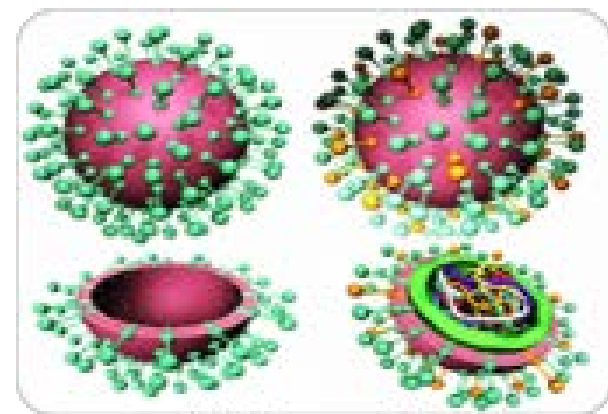
ワクチン事業の強化①

メディカゴの買収

- ・ 植物由来VLP(ウイルス様粒子)ワクチン製造技術の獲得
- ・ パイプライン拡充
 - 4価季節性インフルエンザワクチン
 - パンデミックインフルエンザワクチン
 - ロタワクチンなど新規ワクチン候補品



Commercial scale facility (RTP, North Carolina, USA)



VLP

Flu virus

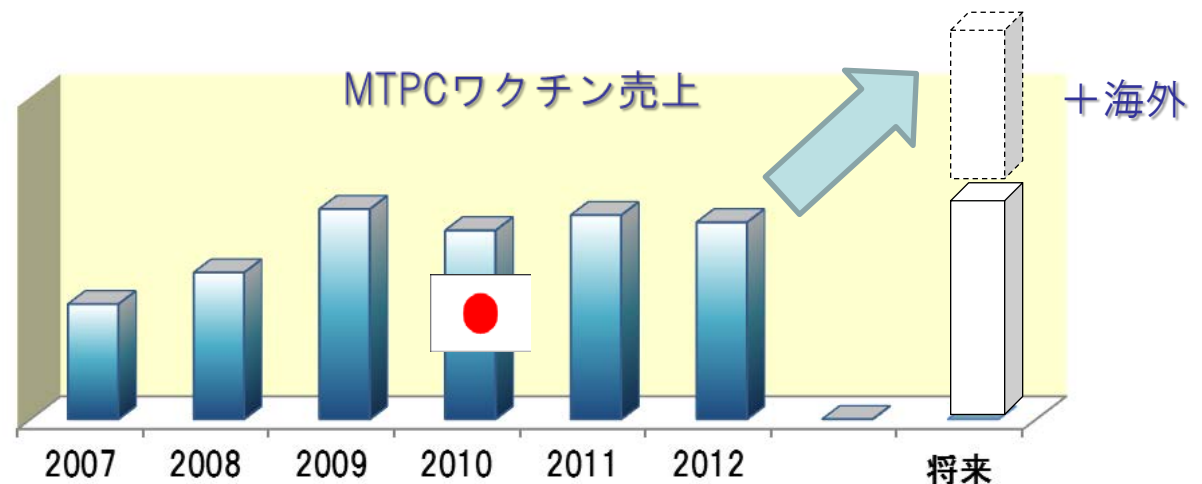
ワクチン事業の強化②

阪大微生物病研究会との関係強化

- ・ 阪大微生物病研究会品目の共同開発・販売促進(国内)

ワクチン推進部の設置


- ・ ワクチン戦略・事業提携の企画・推進
- ・ メディカゴの経営管理



中計11-15 既存テーマの進捗

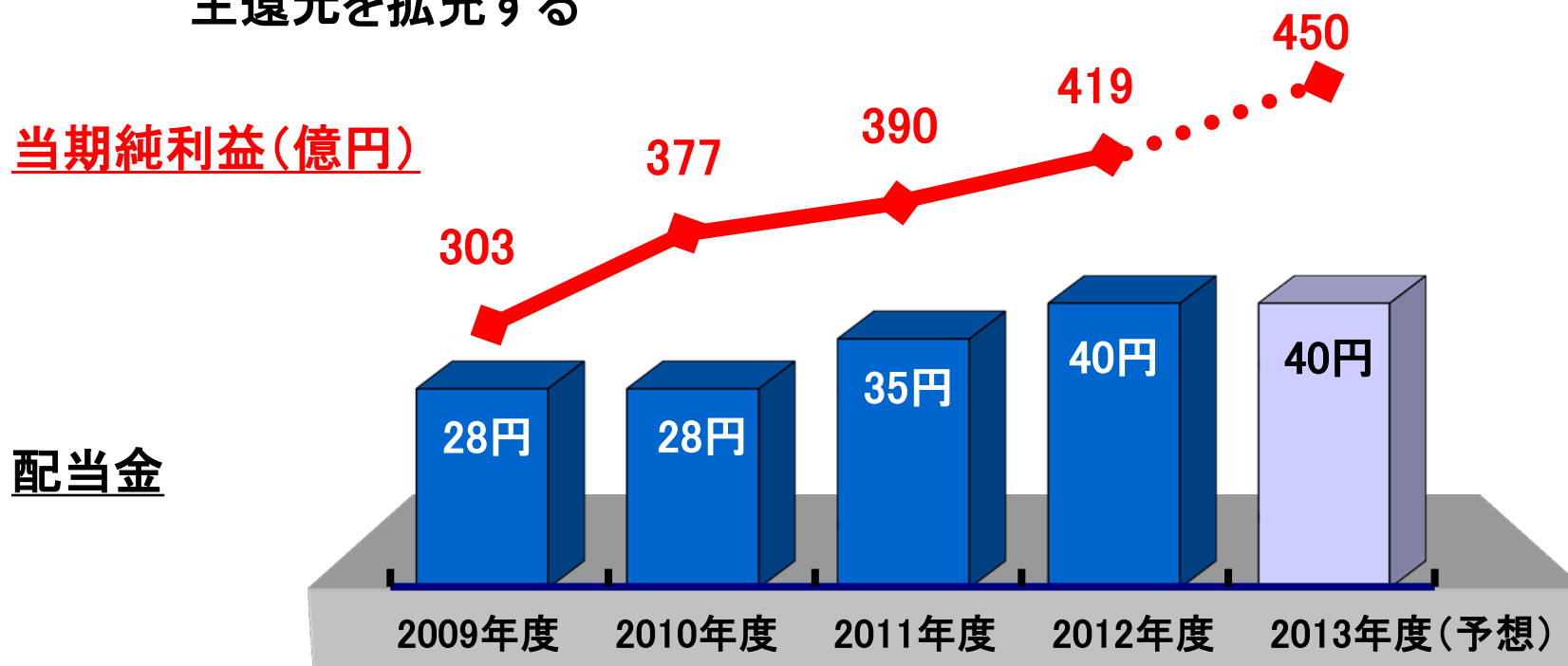
拠点再編 (合併時)	国内生産(8拠点)		2014年 足利工場譲渡	~2017年度末 田辺三菱製薬工場 5→2工場(吉富・小野田)に集約
	海外生産		2014年9月 インドネシア新製剤棟竣工	2015年5月 天津田辺新製剤棟竣工
	研究所(5拠点)	~2012年 3拠点体制へ再編・整備		
	本社エリア(7棟)、他	~2012年 本社エリア(2棟)/東京集約		~2015年 大阪・加島 本社機能再編
事業再構築	血漿分画製剤事業	2012年 事業譲渡		
	その他	2012~2013年 ファインケミカル事業譲渡		

新規取組テーマ	2013	2014	2015~
構造改革プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ● 購買コストの削減 ● 経費の効率化 ● 組織・要員の再編、他 	実行計画の策定	〔プロジェクト施策 順次実施〕	成果最大化



■ 配当方針

- ✓ 当社は、将来成長のための投資を積極的に実行することにより企業価値の増大を図るとともに、安定的、継続的に株主還元を充実させていくことを基本方針としている
- ✓ 中期経営計画11-15期間では、利益成長に加え、連結配当性向50%（のれん償却前の連結配当性向40%）を目処に引き上げ、株主還元を拡充する



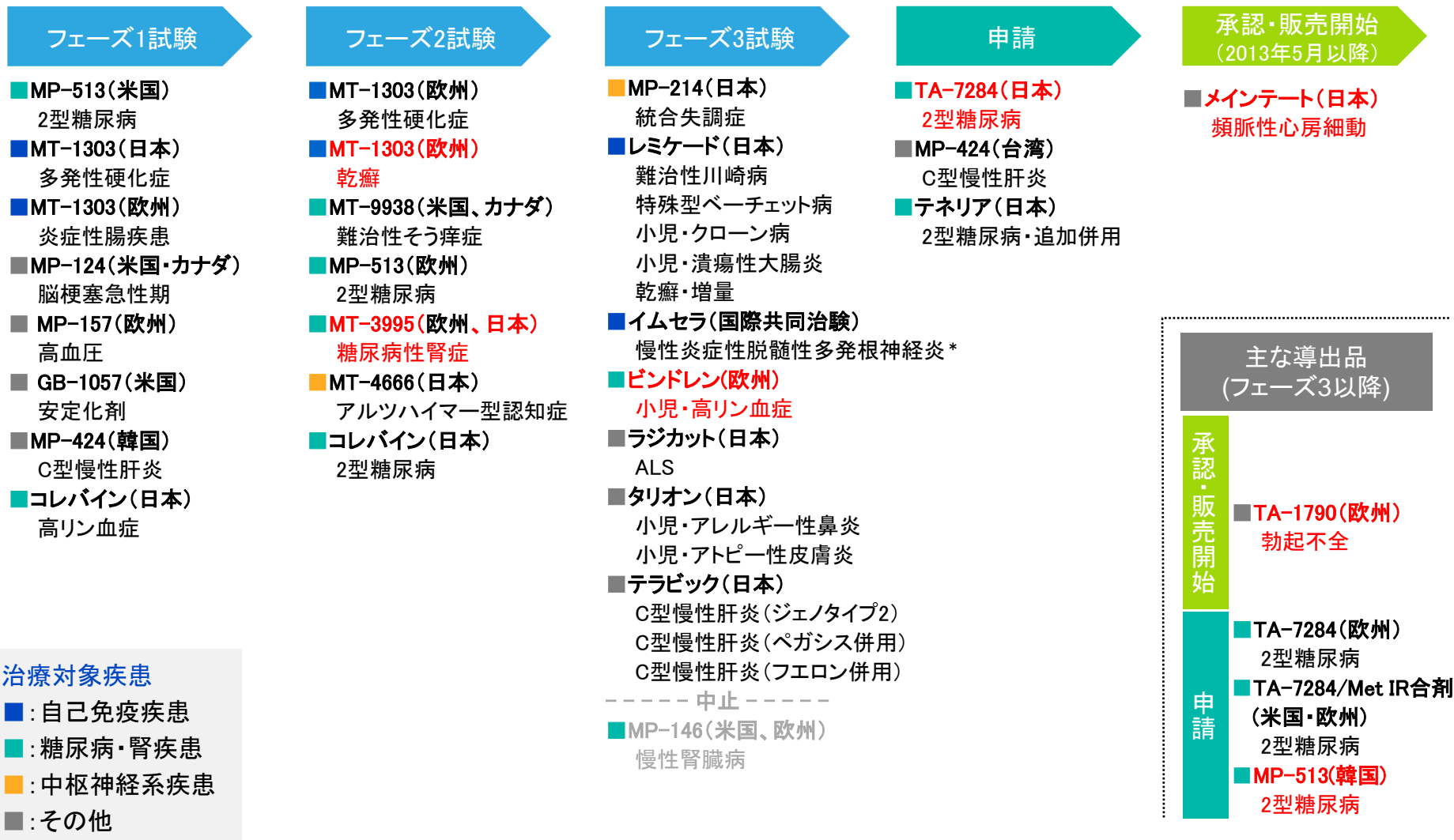
New Value Creation

「新たな価値を創造しつづける企業」へ

製品パイプラインの現状(新規薬剤・効能追加)

赤字: 2012年度決算発表(2013年5月8日)以降進捗

2013年10月30日現在



治療対象疾患

- : 自己免疫疾患
- : 糖尿病・腎疾患
- : 中枢神経系疾患
- : その他

*: 日本はノバルティスファーマとの共同開発。海外はノバルティスに導出。

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。